



Newsletter



投資コストの基本—— “見えにくい手数料”を理解しよう

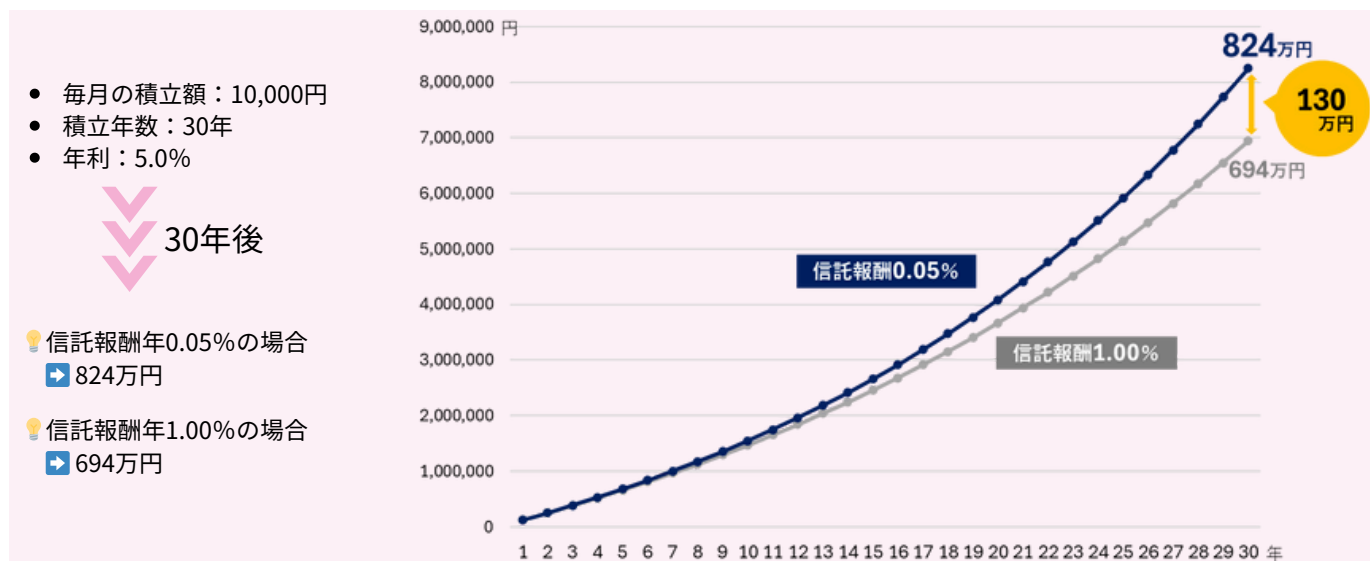
投資信託には、目には見えにくい「**コスト**」がかかります。たとえば、商品を買うときに一度だけ支払う**購入手数料**、運用中に日々かかる**信託報酬**、そして実際の**売買で発生する費用**など。これらをまとめて「**実質コスト**」と呼びます。

とくに意識したいのが信託報酬です。これはファンドの運用や管理のために、資産から自動的に差し引かれる費用のこと。たとえば年率0.5%の信託報酬なら、100万円を預けると1年で約5,000円が引かれます。一見わずかでも、10年・20年と積み重なると受け取る金額に大きな差が生まれます。

💡なぜ低コストが大切な？

投資の成果は「**運用収益－コスト**」で決まります。つまり、同じ運用成果でも、コストが低いほど最終的な利益は大きくなります。最近では、信託報酬が年0.1%以下の“インデックス型”商品も多く、長期投資ではこの差がじわじわと効いてきます。たとえば30年運用した場合、信託報酬が0.1%違うだけで、最終的な資産額が数十万円変わることもあります。

企業型確定拠出年金では、こうした低コストの商品を中心にラインナップされています。もし運用商品を見直す機会があれば、利回りの高さだけでなく「コスト」も比較してみましょう。長く続けるほど、“目に見えない差”が“目に見える差”になります。



🌱見えにくいコストも“未来の自分への投資”

仕事でも、ムダな作業を減らして効率を高める工夫がありますよね。投資も同じで、仕組みを理解し、不要なコストを減らすほど成果が積み上がります。今日の小さな見直しが、未来のゆとりにつながる。仕事も投資も、ムダを見極めることが重要ですね。

🔔 次回予告—— 次回（12月号）は「景気と資産価格の関係」について。金利や物価の動きが投資にどう影響するのかを、わかりやすくお届けします！

おすすめ!



【乗り遅れた あなたに】確定拠出年金ってそもそも何ですか？

これさえ見れば、納得・安心して始められます！



Click!

